

6月号 ㊦

うんのう魂



ピンチは最大のチャンス!! (ピンチを楽しもう)

校長 四本 博彦

いよいよ、6月9日(火)～17日(水)の期間、令和8年度大島地区中学校総合体育大会が開催されます。軟式野球15人・男子バレーボール7人・女子バレーボール10人・女子ソフトテニス8人・水泳3人・サッカー2人・陸上競技12人、延べ人数67人が出場予定です。

3年生にとっては、これまでの練習の集大成となる大会です。各地で、県大会出場を目指した熱戦が繰り広げられ、本当に本当に熱い暑い2週間になることでしょう。

「どのチーム」が、「誰」が、勝つにもっともふさわしいチーム(個人)だったのか?が、明確に分かる大会です。これから出るであろう結果は、今現在のチーム(自分)が受け止めるべき最大の成果です。今までの自分(達)の全ての言動や選択、今までの過程(道のり)が、その結果に結びつくだけです。

これまでの自分(達)を信じ、素敵な未来(結果)へ全力で挑んでください。迷いや不安は、必要ありません。全力を尽くすのみです。無心になり、周囲の音がかき消され、プレーがスローモーションにさえ感じられる「ZONEの瞬間」を感じてください。

必ずどこかでピンチはやってくる。その時に「スポーツの神様、こんなワクワク感を有難う。」と心の中で呟いてみよう。ピンチは、最大のチャンスに変わります!!

全ての瞬間が、未来のあなたを創ります。本気で取り組む皆さんを応援します。

1年 吉田 カ

● 集団宿泊学習



集団宿泊学習では、全員が目標を意識して見事に行動できました。「迷惑をかけないようにしよう」という目標を胸に、時間を意識し、ルールを守って節度ある態度で過ごせました。

集団宿泊学習の成果が表れたのは、2日目の地震への対応です。震度3という揺れの中でも、みんなで声を掛け合い、自ら考えてテラスへ避難することができました。

2年 田中 和空

● 修学旅行



私が修学旅行の活動を通して一番心に残ったことは、アブチラガマの見学です。戦時中の様子やひめゆり学徒隊の話詳しく知り、とても悲しい気持ちになりました。

私はこれまで、洞窟の中で生活したり戦争を経験したりしたことがなかったので、当時の様子をなかなか想像できずにいました。しかし、実際にガマを見学したことで、自分たちには到底耐えられない過酷な環境だったのだと実感しました。当時の人たちの辛い状況を想像すると、戦争は絶対にしてはいけないことだと強く思いました。

3年 仲原 和心



職場体験学習



職場体験学習に行く前、私は「働く」とは「お金を稼いで自分の生活を豊かにすること」であり、自分のために行うものだと考えていました。そのため、今回の体験では「働く上で『やりがい』だけが大切なのか」をテーマに掲げ、幸徳保育園での実習に臨みました。園では、子供たちと一緒に遊んだり、なぞり書きを教えたり、寝かしつけをしたりと、様々な活動を経験しました。その中で気付いたのは、保育士の方々が、子供たちの健康や安全を第一に考え、彼らが楽しく過ごせるよう全力でサポートしている姿です。

この体験を通して、「働く」とは自分の利益ややりがいだけでなく、誰かのために尽くし、責任を持って支えることでもあるのだと実感しました。今後は身近な人へのインタビューを通じ、「働くとは何か」「働くときに何が大切なのか」について、さらに追及していきたいです。

あの頃、そして、これから



1990 - 2026



6月に霧島市で開かれる同窓会を前に、平成11年卒業の卒業生が、来校してくれました。徳之島に暮らす仲間と、「卒業アルバムの再現写真を撮りたい」とのことで、当時の面影を残す体育館で写真撮影を行いました。当時と同じ位置に立ち、撮影しました。あの頃の「青春」は今も色あせず、そしてこれからも「青春」のど真ん中。6月の同窓会に向けて、中学生さながらの熱心な打合せをされていました。



昭和23年に開校した面縄中学校は、令和10年4月13日、創立80周年を迎えます。終戦後の歴史とともに歩んだ80年の歴史の中で、5,100人以上の卒業生を送り出してきました。来年度の秋頃、創立80周年記念式典を開催できるよう、PTAや地域の方の協力をいただきながら準備をしています。5,100の青春に包まれた式典を開催できればと考えています。卒業生の皆様の御協力をお願いします。